

自然に遊ぶ会「岩船寺・当尾の石仏巡り・浄瑠璃寺」散策の報告書

世話役：清野・樋口

実施日：2023年11月14日（火） 天候：快晴（絶好の小春日和）

集合場所・時間：JR加茂駅 改札 10時35分

参加者：女性—石崎・花島・宮川・辻井・今西・上須

男性—金山・平山・都出・加藤・須崎・清野 計12名

コース：加茂駅 10:44・・岩船寺 11:00~11:45・・当尾（とうのお）の石仏の道 11:45~14:00・・浄瑠璃寺 14:00~15:14・・JR加茂駅：解散 15:30

行程概要

- ・当日朝、JR学研都市線の踏切事故で電車が大幅に遅れ、格安バス切符の一日フリー切符の購入が出来ず、10:44発の「加茂山の家」行バスに乗車。
- ・岩船寺は聖武天皇が行基に命じて建立された平安後期の古刹、本尊阿弥陀如来坐像は檜一本作り、おおらかな包容力、どっしりとした貫禄のある重要文化財で、平等院の阿弥陀如来像より100年強古い仏さんの事。境内の三重塔、十三重石塔も美しく、よい古刹であった。
- ・住職の法話もよかったが、境内の紅葉は期待に反し、まだ早かった。



岩船寺



本堂



三重塔

- ・当尾の石仏の道は中世僧侶たちの修行の場で、僧侶たちが作った多くの摩崖仏や石塔がある。浄瑠璃寺までの2kmは、緑豊かな・快い散策道で、笑い仏（眠り仏）、カラスの壺二尊磨崖仏、藪の中三尊磨崖仏等があり、途中の美しい石仏の「笑い仏」で太陽を浴びながら、昼食をとる。



弥勒摩崖菩薩



笑い仏



石仏めぐり



からすの壺二尊仏



あたご燈籠



藪の中三体仏

- ・浄瑠璃寺は平安後期に、貴族たちの浄土信仰が盛んで、あか抜けした本堂、洗練された庭園、三重塔などが建立され、本堂に九体阿弥陀仏を安置し、本堂とともに国宝に指定され、四天王像（国宝）、秘仏の吉祥天女像（重要文化財）など、庭園、建物、仏像の見事さを感じる名刹であった。



浄瑠璃寺山門



本堂



三重塔

- ・天候に恵まれた、程々の行程、楽しい・快い秋の一日でした。



加茂ぶらりまち歩き⑤

美しい日本の歴史的風土100選に選ばれた当尾の里
石仏たっぷりめぐり(約3時間)

NPO法人「ふるさと案内・かも」

〒619-1152 京都府木津川市 加茂町 里中森 101
加茂青少年センター内 (定休日:月曜)
TEL/FAX: 0774-76-3989
https://www.furukamo.org/
事前に予約されると案内人がステキな話でご案内します。

岩船寺から浄瑠璃寺へ、山路を歩くといろいろなお顔の石仏に出会えます。

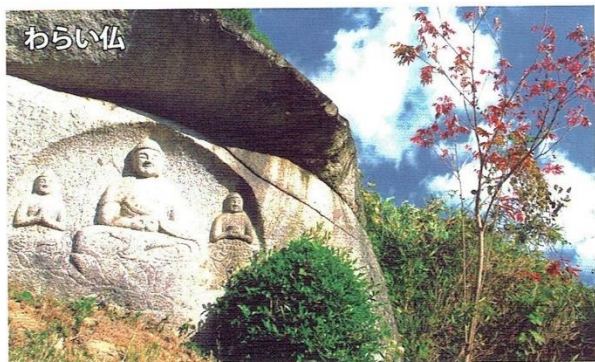
コミュニティバス

「加茂駅東」バス停乗車 → 「岩船寺」バス停下車

岩船寺 → 三体地蔵 → ミロクの辻磨崖仏 → 一願不動 → わらい仏 → カラスの壺二尊 →
随願寺跡 → あたご灯籠 → 藪の中三尊 → 浄瑠璃寺 → 長尾阿弥陀 →
西小墓地五輪塔 → たかの坊地蔵 → 焼け仏 → 「加茂山の家」(※バス乗車可) →
大門仏谷 → 大門石仏群 → 首切り地蔵 → 「浄瑠璃寺前」

コミュニティバス

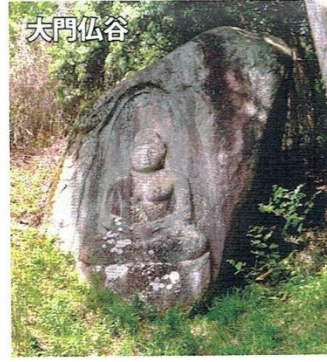
「浄瑠璃寺前」バス停乗車 → 「加茂駅東」バス停下車



当尾の石仏の中でもっとも有名なほけ様です。三像ともに柔和な微笑みをたたえており、見る人の心を和ませてくれます。石工は平重衡の南都焼き討ちにより消失した東大寺再興のため遠く中国から招かれた伊行末の子孫です。銘には、願主岩船寺住僧、大工末行、永仁7年(1299年)とあります。



大岩に彫られた童顔ギョロ目のお不動さん。ただ1つだけ一心にお願いすれば、願いをかなえてくれると伝えられています。



当尾の石仏の中では最大の磨崖仏で、2.6mの如来坐像が谷向いに見られます。